

開 会

鈴木良雄議長 皆さん、おはようございます。
これより本日の会議を開きます。

開 議

鈴木良雄議長 本日の会議に欠席の通告議員は
ございません。よって、ただいまの出席議員
は定足数に達しております。

ここでご報告申し上げます。

請願第6号、年金制度改革に関する意見書提
出方請願につきましては、撤回届が提出され、
受理されておりますのでご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第
2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

鈴木良雄議長 それでは、日程第1、市政一般
に関する質問を行います。

なお、質問は答弁を含めて、60分以内となっ
ておりますので、ご協力のほどお願いいたしま
す。

蒲生光男議員の質問

鈴木良雄議長 それでは、順次指名をいたしま
す。

初めに、順位1番、議席番号9番、蒲生光男
議員。

(9番蒲生光男議員登壇)(拍手)

9番 蒲生光男議員 おはようございます。

今期定例議会において通告してあります項目
について順次質問いたします。市長以下当局
に置かれましては、懇切丁寧、明瞭なる答弁
をお願いいたします。

さて、質問の第一点ですが、5月29日、30日
にの両日にわたって開催された「ながい黒獅
子まつり」について、私を感じたことや市民
の声を申し上げ、市長並びに細かいことは商
工観光課長の見解をお願いしたいということ
であります。

ことは長井市市制施行50周年、本来ならば
華々しく記念行事が開催され、市民に祝賀の
記念品を配り、等しく祝うところでありまし
ょうが、折しもことは最悪の財政であり、
思うに任せない状況であります。そんな中に
あって、黒獅子まつりは2日間に祭日を設定し
開催されました。結果としては総体的には
よかったと思います。二日間で延べ何人の
人出があったのかわかりませんが、古来受け
継がれてきた「黒獅子」の舞いが大勢の人に
見ていただけたことは、長井の黒獅子まつり
が定着してきたというあかしであろうと思
います。

しかし、私を感じたことや市民の声として、
さらに改善すべき点があるのではないかと思
われましたので、申し上げます。

まず、黒獅子といえば、笛と太鼓の音色であ
り、歯打ちの音であります。そして、迎える
側では、かがり火であり、御神燈のほのかな
明かりです。黒獅子まつりでいつも思うこと
は、各地区の祭りでは必ずお獅子を迎えるに
御神燈をともして迎えるのが常識ですが、黒
獅子まつりではそれがほとんどないというこ
とであります。なくてもできましようが、祭
りというのは「雰囲気」であります。祭りら
しい雰囲気をどう演出するするか、もっと考

えていいのではないかと思います。

また、ことしは獅子と警護の格闘という最後の見せ場である舞台が、長井小学校の敷地内に移動しました。そのため、観客が分散され、次の獅子が来るまで間があく場面も見られました。大型のモニターとスクリーンを使い、3カ所から出る獅子の姿を映し出すなど工夫したらどうかという声もありました。特に、御神燈を市役所前、地場産売店前あるいは獅子の道中に市民の協力を得て飾るなど、演出に工夫すべきだと思います。いわゆる黒獅子、ムカデ獅子は、長井・飯豊・川西町を主に見られるもので、この川西・飯豊の黒獅子を見られたこともよかったと思います。いつものことながら観光協会・地場産に工夫が足りないのではないかと思いますし、もっと黒獅子に精通した方の意見やお祭りのイベントのやり方の意見を若い人から求めるなど、祭りにぎわいはどうあるべきか検討すべきだと思います。来年はもっとすばらしい黒獅子まつりになるよう、反省すべき事項を集約し、来年につなげていただくことを期待したいと思います。

次に、道路の2路線の改修について、市長並びに建設課長の見解を求めます。一つは、山形工科アカデミー短期大学校に通じる伊佐沢山の道路の改修についてであります。

山形工科アカデミー短期大学校は開校してこととして8年、ことしは定員を上回る34人が入学しました。開校当初グランベルハウスの経営問題から、急遽市内の業者が経営を実質肩がわりし開校にこぎつけましたが、悪戦苦闘の連続だったと思いますし、今だ経営に自費を投入し人材育成に努力されているわけで、大変な状況が続いております。私は長井市にとっても山形工科アカデミー短期大学校は、人材育成の機関として貴重なものであり、市としても可能な限りの支援は必要と思います。

特に、冬季間の交通の障害となる種々の問題に対し、道路の改修を含めた対策を講じられるようお願いしたいと思います。

平成15年7月、大学校の副校長である小幡知之氏がまとめた「冬期間の伊佐沢山間における事故・災害等に関する報告書」では、詳細にわたり、平成11年、13年の事故事例や災害事例を報告されております。この道路には、一部県道の箇所1,250メートルもあり、当然県との協議も必要になるものと思われませんが、少なくとも60人の短期大学校生徒と職員など、関係する人たちの往来は少なくありません。重大な事故などの事故などの発生を未然に防止する配慮は行政にあって当然であり、実態と今後の改修構想について答弁を求めたいと思います。

次に、平山中道線の未改修道路について伺います。この道路は、東金工業から五十嵐電器さんまでの約220メートルについて未改修のままで、道路幅が狭く、早急な改修を要する道路の一つであります。上流部は15年に改修され、平山中道線全体の480メートルも宮原担い手育成基盤設備事業で施工され、区域内の整備が完了しました。この道路の請願は、昭和63年3月に提出されて以来、ようやく改修に着手されました。平山境町線が整備される前は、市内に通じる唯一の道路であり、500メートル単位で「腰掛場」と称する大きな石が置いてあった記憶がよみがえります。中道地区ほか隣接地区が加盟する「駅西開発推進協議会」の中でも、以前からこの道路の改修要望が出されていましたが、北向地区市政座談会でも毎年改修の要望について意見が出されております。

しかし、新野川の未改修となっている平山中道線220メートルについては、暗渠構造として改修の要望と、明渠構造として改修してほしいという相反した要望が出ているため、要望

の一本化調整を逆に中道地区にお願いしていると聞いております。しかし、なぜ220メートルだけが未改修となったのか、また今後の対応について建設課長から答弁をいただきたいと思っております。

次の質問に移ります。市役所の業務の棚卸しを行い、外部委託計画を含めた長井市の自立計画策定を早め、市民と協働のまちづくりを進める、についてお聞きいたします。

私は、さきの3月議会において志木市の研修から同質の質問をいたしました。市長は、基本的に、民間でできることは民間に、職員は20年後に半分にする、とした答弁をしておりますが、この基本姿勢を実施に移す計画策定が必要と思っております。31日、目黒市長は、長井・南陽・川西・飯豊二市二町合併協議会の行方について結論を出すため、7月を最終期限とした私案を述べておりますが、何ら進展しないばかりか、最近では川西町長のこの枠組みに対する消極的な発言や、川西町議会の実態を見る限り、到底合併が成就するとは思えません。合併後のまちづくりが進められないとすれば、早期に合併協議の結論を導き出すのは至極当然であります。そもそも、二市二町の基礎的データ等について、3月31日まで提出してあるものが、いまだ議会に示されないのはなぜか、とりあえず二市二町の生のデータが欲しいのであり、シミュレーションはその後でいいのであります。まずその作業を急ぐべきだと私は思います。

平成16年5月26日に合併三法が公布されました。現行合併特例法は、平成17年3月31日に失効します。それまでに市町村合併が十分に成果を上げられるよう地域自治区、合併特例区制度の導入や経過措置を講じていくとしております。合併は新しいまちづくりの一つの大きな選択肢でありました。しかし、現実的にそれが困難であるとするならば、自立によ

るまちづくりを進める以外にありませんし、そもそも合併をするにしましなないにしても、自立計画を持つことはまた当然であり、合併の可否によって「行財政改革」が左右されることもあってはならないものだと思います。

まず市長に伺いますが、市長は二市二町の合併協議進展のついてどのような見解を持っているか伺いたしたいと思います。さらに、民間でできることは民間で、これを実現するためには、年次別にどこをどのようにどれくらい委託するかは、業務の棚卸しを行い精査する必要がありますと思っております。実施時期などについて現在どのように考えているかお聞かせをいただきたいと思っております。

長井市の行財政改革がスタートしたのは平成13年度からであります。組織機構の見直しと相まって、平成12年4月からは、これまで民間人だった図書館・市民文化会館・学習プラザ・中央公民館の館長に、14年度には勤労センターの所長にやめていただき、職員を充てました。これは少しでも経費を詰めるという緊急避難的措置のはずで、いつまでもこれを続けるのは行革の信念に逆行します。至急是正すべきであります。この際、抜本的改革は全面委託であり、委託に向けた具体的検討に入るべきだと思います。また、窓口業務の委託についてもしかり、委託が難しい場合は行政パートナーか、あるいは行政サポーター制度か、いずれにしてもそのような形にすればいいと思っております。委託できる組織としてNPOをでも可能ですが、民間組織でも業務執行に必要な知識を備えていれば十分にこなしていけると思っております。

ただ、新規に採用する場合、志木市のように1.5人の雇用を心がけるべきで、人件費総額は大幅に抑制しても、雇用機会の創出をする一石二鳥となる方策をとるべきであります。市制施行50周年のことし、長井市の未来を描き、

+

これを市民に提示することができるならば、すばらしいプレゼントになると私は思います。

公立の保育施設に対する補助金が、一般財源化の名のもと、大幅に削減されました。民間施設でないとは補助対象にならない現実を直視しなければなりません。これに関しては、同僚議員の大道寺議員から質問の予定でありますので省きますが、幼保一元化とあわせ改革していくべきであると思います。

次に、人事院は、とかく批判が高かった公務員の「特別昇給」について5月1日より全廃の方針を出し、これを受け総務省は全自治体に対し廃止を求める方針を決め、市町村に通知する、とした報道が4月10日前後に出されました。毎日新聞の調査では、ことし1月時点で46都道府県と13政令指定都市で1号俸、26道県3政令指定都市では2号俸引き上げている、としています。しかし、香川県は昨年1月から、東京都もことし1月から公務災害などでの特別昇給を除き、廃止しました。ことしに入り埼玉県、神奈川県も全廃方針を出しています。

長井市の場合、さきの3月議会でも指摘しましたが、最高で6号給上げる仕組みになっています。民間から見ると異常であり、とても理解できないものであります。これを即刻やめなければ、幾ら行革をしたといってもその功績はなくなると思います。即刻やめて、市役所の常識が世間の常識となるよう改めていただきたいと思います。いかがでしょうか。市長の答弁をお願いしたいものであります。

この項の質問を再度要約いたしますと、

市長は、合併に関しどのような認識でいるか。

長井市の自立計画を策定するため業務の棚卸しを行い、年次別に委託業務を市民に周知する。

図書館・市民文化会館・学習プラザ・中央

公民館・勤労センターなど館長の民間起用を元の姿にとりあえず戻す。

サポーターなどの新規雇用は退職職員1名に対し1.5名の雇用とし、雇用創出に努める。

特別昇給は即刻中止する。

以上で、壇上からの質問を終了いたします。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 蒲生議員の質問にお答えをいたします。

まずことしの黒獅子まつりについてでございますが、観光協会のご努力とともに、獅子連や関係機関のご協力を得て二日制の開催となりましたが、二日目の前半はちょっと雨でありましたけれども、おかげさまですばらしいお祭りになったと思っております。

また、川西町・飯豊町からも参加をいただき、黒獅子まつりを大いに盛り上げていただいたことに御礼を申し上げたいと思います。

迎への仕方ですが、大町商店街では道先に田楽提灯を飾って黒獅子を迎えられたと聞いております。また、それぞれの商店街の皆さんや沿道の方々にも、工夫を凝らしながら黒獅子まつりを盛り上げようと努力されているというふうに感じます。ことしの場合には二日間ということで、若干1日当たりの黒獅子の数が少ないため、あるいは雨のため、間があいてしまったということもあると思いますが、二日間のお祭りとして開催するには、このあたりをどのように考えていくか、これが課題だと思っております。

議員のご質問のような大型モニターの設置ということではありますが、これは私は黒獅子のお祭りというのは、やはりふれあいにあると思いますね。警護の方や振っている方やいろいろな方とのふれあい、御神人等、いろいろな声かけ等が、これがまた祭りの妙技ではないかと思ひますし、経費の面からも十分考え

ていく必要があるのではないかと、モニター
の設置はですね、と思います。

黒獅子まつりは長井を代表するお祭りであり
ますので、今後とも観光協会と連携をしながら、
よりよいお祭りにしていきたいというふう
に思っているところであります。

次に、市道大石線の道路改良についてであり
ます。山形工科アカデミー短期大学校に通じ
る道路のうちで、山の神橋からの先の道路は、
逆川沿いに非常に狭隘な狭い屈折した道路が
連続しておりまして、車両のすれ違いが困難
なところが多いと。特に冬期間は雪害による
倒木などで危険な状態もあることを十分に承
知しているつもりであります。

ご指摘のように、山形工科アカデミー短期大
学校は、当市の産業を支えていただける人材
を育成する上でも重要な教育施設であると考え
ておりますし、フル規格の整備は、片方が
山、片方が川ということにありますから、非
常に難しいわけにありますけれども、例えば
このすれ違いの場所をつくるとか、必要な整
備を行っていきたいというふうに思っている
ところであります。今後とも山形県とも調整
を図り、ところどころに待避所を整備する方
法なども含めて検討していきたいと思ってお
ります。なお、この問題につきましては、平
泉議会議員も現地調査を地元の建設事務所等
とも引き連れて行っていただいたという報告
がありました。十分に連携をとりながらやっ
ていきたいというふうに思っているところで
あります。

次に、これ長井市の未来でありますね。市制
50周年を迎えてですね。これはやはり、一つ
はこれからこういうまちにしようということ
で、基本構想というのを市民の皆さんにまと
めていただきました。「協働・創造・未来の
鼓動実感“ながい”」と。これを具体化一歩
ずつしていくことが一つであります。

もう一つは、自立をしていくという。常にど
んなときがあってもということが必要であろ
うと思います。自立計画というのか、自立プ
ランというのであるか、そういうものはこの
18年3月に第一の行財政改革がある程度進み
ますので、その後の重要な検討課題だと。私
としては、ぜひ大綱のようなものはつくって
いきたいというふうに思っております。

合併の行方についてであります。議員もご
出席いただきました2月の二市二町での合意
は、17年3月までに各町が議会で可決をして、
そして三つのメリットは享受できるように急
ぐという合意であったろうと思います。その
後、南陽の市議会選挙や川西町の町長選挙を
経て、現在なっているわけではありますが、
ぜひ議会の皆さんとも連携をとりながらとい
うことで特別委員会で申し上げましたけれど、
各町の真意をよく見極めながら、しかし、ず
るずるといふことにはもういかならうと。
17年の3月まで各町の議会に議決をするとい
う約束ができるのか、あるいはやる気がある
のか、この辺を議会の皆さんもぜひ連携をと
りながら議会同士で確めていただきたいわけ
であります。首長としても首長同士の真意
を確めながら、しかし、参議院選挙がありま
すし、7月いっぱいあたりをめどにはっきり
しなければいけないのではないかなというふ
うに私は申し上げてまいりました。これを
はっきりした上で次に向かっていった方がす
っきりするのではないかとというふうに私は思
っております。

業務の棚卸しにつきましては、3月議会の後、
担当課長と担当に志木市の例等もあるので、
それを取り寄せてこの検討はするようにとい
うふうに指示をいたしました。これはやはり
膨大な量なのでですね。一応まず総務でやり
まして、それが各課に分配をしてと、それな
りに検討し精査をしていくということでありま

+

すので、リストを作成してリストアップをすると。年次計画まで立てるといふのを今年度いっぱいかかるのかなという感じを持っております。しかし、急ぐように指示をいたしております。その中で私も民間でできることは民間でということで、例えば図書館等については、民間に委託できる、あるいはNPO法人等で委託できないのかということを担当課にも指示を出しておりますが、こういった課題を整理をしていきたいと思っております。

元へ戻すというふうには私と考えておりません。民間でといっても、教育委員会の方で校長先生のOBの方がなっておられたというのが大体でありますね。実際に、では事務的な管理を週3日間のそういう館長業務でできるかという、それは今の時点で言えば、私はやはり館長なりはそういう事務の管理もできる者でなければ、これは名目だけになってしまう。緊急避難ということもありましたけれども、これもこの際やはり根本的に考えていった方がいいと。どうせやるのはNPO法人等がずっと引き受けてもらえるようにするか、その方が私はいいいのではないかと。ただ、一つ一つでありますから、これはぜひその辺のところは早くやれというご叱咤ご叱声は大変ありがたいわけではありますが、私としても急げ急げと、事務当局は督励をいたしておりますけれども、一つ一つやっていきたいというふうに思っているところであります。

特別昇給につきましては、私はちょっと誤解があるのではないかと。いわゆる退職時の2号給というのは、1号に長井市はしたわけがありますし、私は、みんなが勤続20年で1号というの、もう人事院勧告等で廃止すべきだと。実態はそういう成績のよい人ということでありましたけれども、そうじゃなくて全員になっているという落差もありますから。ただ、これについても、組合に交渉に応じる

ようにと総務課長に督励をしておりますし、組合とも話し合いをしながら、私はこの2号が1号にされましたけれども、1号も見直ししていくと、撤廃していくというふうにしたいたいと思っております。

早期勤奨退職については、行財政改革の中でいろいろ議論をいたしました、これは民間の早期退職をなさる場合には、多少のプラスアルファがあると。これはどこでも私が聞いたことがあるし、新聞等でも載っているわけありますから、それはやはり1年間でも1,000万円が、せいぜい5号でも100万円であります。しかも、ことしの3月でも9人早期の退職勤奨に応じていただきましたし、その前の年もそうでありますし、これはやはり実績も上がっていると。全然そういうことをしないよりも、長井市の場合には他の市区町村よりは勤奨退職については実績が上がっていると思っておりますから、これは18年の3月までにはその制度を私は残していきたいと。ただし、その後につきましては、私も18年の12月まででありますから、しばらくは全然ありませんので、ぜひいろいろ議会の皆さんと新指導者の皆さんでご検討をなさるべき事項だろうと思っております。

以上であります。

鈴木良雄議長 浅野敏明建設課長。

浅野敏明建設課長 それでは蒲生議員の平山中道線道路改良についてお答え申し上げます。

市道平山中道線のうち、宮原地区担い手育成基盤整備事業区域内の道路改良工事につきましては、平成15年度に延長480メートル、全幅8.5メートルで完成しました。今年度に残り部分、中街道線との交差部の改良工事を施工する予定であります。

また新町川整備につきましては、消流雪用水導入事業関連工事としまして、同じく昨年度に市道平山中道線まで延長620メートル完成し

たことによりまして、旧宮地区一帯の水量不足を解消することができました。その下流の整備につきましては、平成7年から8年度にかけてまして、当時下水道課であります、公共下水道汚水管路敷設工事にあわせまして、地元中道地区の要望に答える形で、新町川を暗渠構造として整備しまして、市道石橋中道線の拡幅を図ったところであります。

議員のご指摘の上流部分、延長160メートルになるわけですけれども、同様に暗渠構造で整備するよう地元から要望を受けていたところ です。

しかし、隣接する関係者からは、拡幅する整備に当たっては、新たに用地を購入して今までどおり流れが見える開渠で整備するよう要望があったことによりまして、地区長さんを通しまして中道地区として要望を一本化していただくよう調整を図っていただいております。

ご指摘の路線は、道路改良済み区間から極端に現道幅員が狭くなっていることもありまして、同じ拡幅は困難であります、生活道路としての拡幅は必要であると認識しております。中道地区の要望を再確認させていただきまして、新町川の整備とあわせまして財政再建後の整備区間として計画していきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 1番目の問題について、市長答弁者ということにしてありますが、細かい反省点は商工観光課長が多分ご存じだと思います。でありますので、商工観光課長にどのような反省を自身で考えていらっしゃるのか。ここにありませんけれども、議長の許可を得て、商工観光課長の答弁をお願いしたいというふうに思います。

鈴木良雄議長 那須宗一商工観光課長。

那須宗一商工観光課長 蒲生議員のご質問にお

答え申し上げます。

ことしの黒獅子まつり、ご案内のように二日間という開催で、大変盛り上げていただいたところでございます。二日目がちょっと雨ということで、若干残念だったわけでございますが、全体としても大変いいお祭りだったなというふうに感じているところでございます。

ただ、幾つかやはり私なりの反省点もございます。やはり先ほど蒲生議員のご指摘もありますとおり、どうしても獅子と獅子の間があくと。その部分をどのようにお祭りとして盛り上げていけばいいのかというふうなところは、やはり課題だなというふうに感じるところでございます。

あと、もう一つは、従来でございますと、第2庁舎の西側の駐車場が舞台でございまして、そちらに行くということで、市役所から人の流れが全体として大きく続いておりましたが、ことしは長井小学校に舞台を設置したということで、どうしても人がばらけてしまったというふうなところがあると思います。その辺の会場の飾りつけとか演出の方法については、やはりもっと工夫が必要だなというふうに感じたところでございます。

あと、商店街の方々ににつきましては、それぞれ皆様方できる範囲でご努力されているというふうに、私はとらえているところでございます。十分ではないというふうなご指摘も、一部真摯に受けとめながら、商店街の皆様のご協力をもっといただけるように、私どもとしても機会がございましたらお話をさせていただきたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 まず最初に黒獅子の関係を終わらせたいといひますか、やりますが、体験コーナーというのがありましたね。行衣

を着て獅子舞いの体験ができますよと。これ何人来ました。

鈴木良雄議長 那須宗一商工観光課長。

那須宗一商工観光課長 お答え申し上げます。

たしか1日目が4人だったというふうに記憶しておりますが、私の記憶の範囲でございますので、多分4人だったというふうにお聞きしております。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 関心がないのではなくて、やはりPRといえますか、啓蒙が足りないのではないのかなと私は思うのですよね。私も結局4人しか来なかったというふうにお聞きしているのですけれども、これせっかくそういうふうに企画をして、結局3人とか4人とかしか来ないということであれば、これはちょっと物足りないですよ。これだけではないですけども。

それから、今回この黒獅子まつりの、いわゆる経済効果というのは初めから予測したものでですか。それとも経済の点は全く関係ないとお前たちが出ればいいんだということになってしたものでですか。その点はいかがですか。

鈴木良雄議長 那須宗一商工観光課長。

那須宗一商工観光課長 確かに経済効果を算定するというのは大切なことだというふうには考えておりますが、具体的に数字として計算をしたものはございません。ただ、市外からの入り込み数なり各商店での売り上げなどの増加もございますので、そういった面とか、あと、具体的に数字としてあらわれないいろいろな面での経済効果は十分あるものだというふうには考えております。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 いわゆる無形効果だ。でも、経済効果を全然省みないでイベントをぶつってそうはいないと思うんですよ、私は。市長にお伺いしますけれども、ニセコ町では

観光協会を株式会社をしていると。なぜそんなことをやるのですか。これはある種のねらいがあるわけですね。まずその点一つね。

それから、もう一つ。こういう黒獅子まつり単品でボロンとあるのではなくて、今回あやめ祭り、それから飯豊のゆり園ですね。これをセットにして売ろうというのが新聞記事にありましたけれども、もうちょっと複合的にイベントを組み合わせていく。例えばこんな声もある。わらび狩りツアーと組めないかとか。いいかどうか分からないですよ。そういうのがあるのです。こういうことについては市長はどう考えているのですか。観光協会のあり方とこの点ですね。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 観光協会をどうしようかということについては、各町ごとに検討なされておると思います。株式会社というのが適当かどうかも含めて検討事項だよと。これは商工観光課にも、それからそういう話があるよと、観光協会も。従来のように、市から金が来ないからできないのだと、こういう話だけでは委託金が少ないから、減ったからという話だけではだめだよと。やはりそれなりに自立して、そして的確な観光ができるように、おのおの自主的に改革をしなければいけないと思うよと。各地ではこういうのがあるよというふうに申し上げてまいりました。なお、それは検討していかなければいけない課題だと私は思っております。

それから、いろいろな祭りとの組み合わせは、やはりそれなりにツアーですね。それを提携できるところは提携した方がいいと。当然今度のゆり祭りとも提携して、若干ですが料金も安くなると。そしてパンフレット等も出して、こういうふうにいけるのだと。こっちからも来れるのだというふうな案内もしているわけでありますから、こういうあれとは提携

できるところはどんどん提携すべきだと私は
思います。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 結局これについて11項目
ぐらい私感じたことを列挙していますので、
これから言いますから、ぜひ検討していただ
きたいなと思います。

まずかがり火とか御神燈の問題ですね。総宮
神社の例大祭では、さっき市長からありまし
たように、大町商店街でお獅子様を迎えると
いうので、大変幻想的な世界を醸し出してお
ります。ああいう世界が今回の黒獅子まつり
に総体的にあったならば、これはすばらしい
ものになったのではないかというふうに思っ
ておりましたので、ぜひこれを来年のお祭り
に反映していただきたい。

また、この黒獅子にまつわる資料の展示など
も、例えばどこが適当かわかりませんが、
ちょうどダイエーの店舗を一時お借りして、
その1階フロアにそういったものをしてみる
とかですね。これは日中ですよ。それから、
歩行者天国にして、日中子供のイベントをい
れるだとか。そうしますと、終日黒獅子とい
うことになっていくんじゃないかなと思いま
す。タスパークホテルに確認しましたところ、
これによる宿泊の効果はなかったというこ
とで、経済的波及効果については私は極めて
希薄なイベントになってしまったのではないか
というふうに、商工観光課長は数字では言い
あらかせぬものがあるとおっしゃっていま
すが、やはり付加価値をつけるという点でも
っと努力をしていくべきだというふうに思
います。中央十字路あたりは、三方から獅子
が来ますものですから、非常に舞いを舞うに
は広場が狭くなったと。例えば、障害を持
った方を、お年寄りですよ、その獅子の舞
いを見に行こうとしても連れて行けない。障
害者の見る席がない。これはちょっとやさ
しさに欠

けるのではないかということが具体的意見と
して出ております。

それから、30日は大雨が降りましたね。ち
ょうど5時半から6時ごろ。役員のテントは
あるのに、見物客は雨をよけようがないとい
うのが出ているのですよ、やはり。これは全
体の見物客を全部収容するとなんてことは
あり得ません。あり得ませんが、そういうこ
とも出ている。

新庄祭り、これは金曜日の午後、学校を休
みにしてイベントに参加しているということ
も聞きました。やはり一つのお祭りを盛り
上げるといことは、そこまで市が一体とな
ってやっていかないとなかなか難しいの
ではないかと、このように思いますので、
ぜひこの点を次年度の検討課題として考
慮していただきたいということを申し上げて
おきたいと思えます。

次に、道路の問題ですが、大石線について
建設課長から何もなかったのですけれども、
いわゆる1,250メートルの県道が一部入っ
た形で今はなっていて、県の担当も現状を
見に来て、案内したわけですね。これはど
んなことを担当者は言ったわけですか。何
も言わずに、ほうだかと言って帰ったわけ
ですか、これは。その点はいかがですか。

鈴木良雄議長 浅野敏明建設課長。

浅野敏明建設課長 お答えいたします。

先日山形県西置賜道路計画課長と、それ
から平県議と同行しまして、先ほど申し
ました山の神橋から工科アカデミーまで
現地を踏査させていただきました。あそこ
には、県道名でいきますと米沢・南陽・
白鷹線の一部が大石線を通っております。
これを把握している県の職員も余りおら
ないということで、まず場所を認識して
いただいたと。現状を認識いただいたとい
うことで、課長の方も初めて現場を見た
感じで、改めて県の管理道路課という

+

ようなところでびっくりしていたようであります。幅員が狭いということも認識しましたので、今後、先ほど市長が答弁しましたように整備する方向で検討してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 その整備の手法なのですが、どういうふうに整備するということになるわけですか。一番現実的な可能性のある方法としては。

鈴木良雄議長 浅野敏明建設課長。

浅野敏明建設課長 お答えいたします。

昨年度ですが、道路構造令の改正がありまして、ローカルルールが基準化されました。それは1.5車線などもローカルルールの一つであります。つまり、今までは2車線というのが最低のルールでありましたが、1.5車線ですから、必要な場所に退避所を設けるような1.5車線ルールも認められましたので、そういった退避所を設けるような整備手法を知り入れて整備を図りたいと。例えば補助事業になりますと、ピー・バイ・シー、費用対効果というのが求められますので、交通量が数十台程度でありますと、なかなか補助事業のレベルには上がってこないということで、単独事業の方向で整備するほかしかないというようなことで、最小限の経費で最大限の効果を上げる方法を考えていきたいというふうに考えております。

以上です。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 そうですよ。2車線になんてもちろん不可能だと思いますし、現状を考えれば退避所をつくって、少なくとも交通の障害にならない程度で考えるしかないのかなと私も思います。ですので、これを道路構造からしてどの程度の待避所ができるか私

はわかりませんが、ぜひ具体的に進めていただきたいと思います。

結局あそこの学校の経営に深くかかわっている市内の業者さんは、かなりの自費を投じておことは確かであります。そういったことも含めて、長井市も何もしていないというわけではありませんが、今までもやれることはやってきたわけですが、ぜひこれも検討の二人三脚で改善していただくように努力をしていただきたいと思います。

平山中道線について、いわゆる暗渠、明渠になって残ってしまったですね。160メートルというふうにおっしゃってました。これはなぜあそこだけ残ったことになりました。

鈴木良雄議長 浅野敏明建設課長。

浅野敏明建設課長 お答えいたします。

さっきも若干触れましたのですが、当時污水管路敷設工事をその先の部分でやっていた関係で、当然掘削して整備するときに、水路がついても非常に狭い部分でありますので、そこだけを暗渠構造にして広くしていただきたいというような地元要望があったということで、急遽その部分だけを暗渠構造として確保したというふうに伺っております。その先については、当時はそこまでは計画していなかったというようなことであります。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 その先については、要望も何もなかったからしなかったということですか。しなかったのですか、できなかったのですか。

鈴木良雄議長 浅野敏明建設課長。

浅野敏明建設課長 当時のことを詳細に覚えている方が中におりませんが、地元の要望では、その施工区間、污水管路工事の施工区間の暗渠を要望されたというふうに伺っております。

以上です。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 私が聞いていたのとはちょっと違うようなところもあるのですが、いずれにしても、要望が暗渠と明渠という相反する、相対することが出ているわけですから、個々の話し合いをしていただいて、どういう方向の整備計画ができるのか進めていっていただきたいと思ひますし、一部東金工業さんのところが、ちょっと狭くなるわけですね。これはこっちの160メートルの川の改修が済んでも、あそこの部分は残るわけですよ。これについては、今どのようなことになるかと想定していらっしゃいますか。

鈴木良雄議長 浅野敏明建設課長。

浅野敏明建設課長 お答えいたします。

先ほどお話ししました160メートル部分を拡幅しても、今議員からご指摘ありましたように、東金工業の部分が旧態依然の拡幅でありまして、非常に危険な状態になります。当然、東金工業部分についても、最低限の確保は必要だと思っております。本邸まで移設するような整備はちょっと難しいのですが、下屋等が出ている部分を何とか拡幅できればというふうに、今のところは考えております。東金工業さんには、その辺の話はまだ詰めておりませんが、今後計画していきたいというふうに考えます。

以上です。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 自立計画の関係で市長にお伺いいたしますが、大綱令はつくりたいというふうにおっしゃっておられますが、私は市制執行50周年ということで、11月3日の文化の日に記念式典等々について行いたいと。あるいは第九を歌おうということで予算化されて、子供将棋大会なども計画されておりますが、これは言ってみれば最低限度のイベントになっているわけですね。ですから、合併の問題もありますし、さまざまありますが、

フラワー長井線の問題だってけりをつけなければいけないというさまざまな、50周年というこの節目の年に長井市がやはり英断をしていかなければいけない課題がごろごろしていると思うのですよね。

これから長井市はこういう方向で進むんだということが市民の皆さんが描けるように、やはりことし1年本当に精力的にそれらの課題について解決するための方策を練っていかねばいけないと思うのですよ。特に長井市の自立ということ、長井市のまちづくりの未来ということについては、非常に大きい課題だと思ひますから、大綱をつくってということなんでしょうけれども、具体的に志木市の場合だと、もうこういうやり方でやったという説明を受けたじゃないですか。そして、そのときの資料ももらってきているわけですね。だからあえて取り寄せる必要もないと思うのですよ、私は。そういうことを考えますと、長井市の場合、どういう方向でできるのかということについて、具体的に検討に入っていくべきではないのかなと思ひますが、いかがでしょうか。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 基本的に自立をしていかなければいけない。ここは私は蒲生議員と同じ、ご指摘のとおりだと思ひます。そして、そのために民間でできることは民間にさせていただいて、民間の雇用をつくると。そして行政はスリム化をしていくという方向にしなければいけないと。

しかし、私は志木市をご一緒にお聞きしたのですが、相当精力的におやりになられている例もあるわけですが、しかし、若干環境の違いもあるだろうと思ひますね。それから、今までの感覚の違いもあるだろうと思ひます。やはりそれは全体を、あれだって志木市がやったから全部そのままというふうにもいかな

+

いところもあると思いますから、各課でもやはり検討する、行財政改革委員会でも検討する、行財政改革推進本部でも検討するというようなところをかけたも、17年度、18年の3月31日まで今の行財政改革の方針をさらに決定する仕事があるわけですから、それは基本的にしっかりと検討していくということになるのではないかというふうに思います。

私は議員と同じように急げと急げと言うのはもちろんであります、ついてくる方はなかなか、もう少ししっかりと時間をかけてと、こういう意見もありますので、その辺のところは議員と一緒に、急ぐように努力をしたいというふうに思います。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 埼玉県の羽生市議会は、3年後の議員の改選の選挙時に、現行定数23名の議会定数を16名にするという議決をしたわけですね。どうもその背景を探ってみますと、今まで進んできた合併協議がうまく進まなくなったというのが背景にあるというふうに書いています。きょうあたりインターネットでいろいろ調べますと、また別な角度で任意協議会の話が出ていたりしますが、しかし、議会としては議会の機能を最小限度残せる、そしてその定数はどうあるべきかという角度から検討して、結果的に7人を減らして16人にしたと。だから、人口規模で言うと、最小の議員の構成になるのですよ。そのぐらいの覚悟を議会もしなければいけないということですね。

ある議員は、羽生市のですよ、ホームページの中に、市議会議員定数削減は賛成多数で可決をしたと。次の一般選挙は定数16人になります。この数は新聞報道にもありましたが、全国で最小と言えます。単独で進まざるを得ない羽生市の生き残りの覚悟のほどが、議会人としては精いっぱい表明と言えるでしょ

うとか、いろいろ書いてあります。議会の側からすれば、この全国最小の定数を可決することによって、執行部側へ事務的経費と言っている人件費や公債費の削減を一層進めるように、大きなプレッシャーをかけたと思われるますとも述べているわけですね。全会一致ではなかったということなのですが、いわゆる合併によるまちづくりというのは、一つの大きい選択枝ですが、それがなかなか進まないということになりますと、思い切った決断が必要になってくるということは、私は当然だと思います。

そんなこともあって、長井市では、人材の研修ということで、石川県の羽咋市の方に人を研修に出そうという動きがあったのですが、研修で出すという経費のかけ方よりは、講師を招いているいろいろ広く聞いてみようということになりまして、5月の27日でしたか、たしか27日だったと思いますが、補佐以上の方、午前午後に分けて研修をなさったわけですね。私どもの会派から大道寺議員も参加させていただきましたけれども。

この羽咋市の研修、人事管理制度が主だったというふうに伺っておりますが、市長は出られたのですか。市長の所見は、どのように感想をお持ちなられたのかですね。それから、今回の仕掛人は助役であったわけですが、助役と総務課長と財政課長あたりですね、参加して受けた感想を、ぜひこの際お聞かせいただきたいなと思いますが、いかがでしょうか。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 ご指摘のように、私も参加をさせていただきました。この羽咋市でやっておられたことの、細かなことは助役以下理解をしたと思いますが、大変勉強になったと思います。私自身も、これはできれば17年の4月あたりからまずやってみると。そして、足りないところは直していけばいいと。まずやっ

てみる必要があるのではないかというふうに申し上げてまいりましたし、その感を深くいたしました。

鈴木良雄議長 長谷部宇一助役。

長谷部宇一助役 お答え申し上げます。

とらえ方は人それぞれ違うと思えますけれども、大変私どもも、これからやるとする長井市としては大変参考になりました。特にやはり、やる羽咋市の環境というものの整備ということがやはり大事にとられておりましたので、そのことも十分私どもも参考していきたいと思えます。

ただ、1年でなったわけでないので、そういった経過も踏まえながら私どもも取り組んでいきたいと思っております。

鈴木良雄議長 佐藤 仁総務課長。

佐藤 仁総務課長 お答えします。

今回の研修は総務課の方で主催いたしましたして、羽咋市の岩城市長公設秘書さんに来ていただいたわけでございますけれども、今年度の課題になっております給与制度の見直し、そういった観点から、我々職員自体が少し勉強させていただこうということでお話をお伺いいたしました。

羽咋市さんは、人口が2万6,000人ぐらいの市というふうにお聞きしておりますが、今回の人事管理関係の進め方につきましては、職員ともいろいろそういう協議を重ねながら、少しずつやってきたんだというふうなお話でございました。

そのお話を伺いいたしましたして、確かにすばらしいことだなというふうに思いましたけれども、我々の方でも当然取り組むべき事項だというふうに思いながらも、一朝一夕にはできないと。少しずつ、ただ始めなければ、動かなければ進めませんので、始めることから、着手することが大切だというふうなことで、最初から100%の完成度は望めないかと思いま

すが、少しずつ改善していけるような、そういったご示唆をいただいたというふうにいるところでございます。

鈴木良雄議長 松本 弘財政課長。

松本 弘財政課長 お答えします。

研修を受けさせていただいた感想というふうなことでございますけれども、まず一番肝心なことは、課題を明確にするというふうなことが第1点挙げられるかと思えます。その課題に向けて、いつまでに、どういうふうな過程を踏んで明確にその目標を達成するのかというふうなことを、具体的に例えば数値化するなりして、その目標の実行、それから経過の過程管理、こういったものが大切だというふう認識したところでございます。

以上です。

鈴木良雄議長 9番、蒲生光男議員。

9番 蒲生光男議員 時間もそろそろですので、いみじくも最後に財政課長からありましたように、計画というのはいつまでに、何を、どのようにやるかということを示すことだというふうに言われましたが、例えば大道寺議員から後で出てくるかもしれませんが、いわゆる実施計画書というふうになっているものが、いつまで、どのようにするかということが全然明示されていない計画書があるわけですね。そういったものについても、いわゆる科学的な手法ということで、それが実施時期であるとか、あるいは期待する交換会であるとか、そういったものを目標値を明示するのが計画の大事な部分であります。もっと言うと、実施計画というには、やれたらやろうという余地を残してはならないという言葉もあるのですよ。ぜひあいまいなものにしないではっきりして、はっきりすればだれがやらなかったのか、なぜやらなかったのか、あるいはまた、やろうとしてもできなかったのか、その原因がわかりますよね。原因がわ

+

かれば対策も打てるはずで。ぜひそのように進めていただきたいと思います。

始めなければ始まらないという言葉がありますが、今まさに長井市はこの自立計画、長井市の自立ということに向けて、大いに歩を踏み出す時期だと私は思いますので、ことし1年間かけて、議会も当然であります、当局の皆様におかれましては、ぜひそういった視点で進めていただくようお願いをしたいと思います。

ちなみに羽咋市の市長は、市長になる前は新聞記者だったそうです。これは一昨年だかの地方自治経営学会に私が参加させていただいたときに、羽咋市の市長が、いわゆる羽咋市の取り組み、人事管理制度を主とした羽咋市の行革の取り組みについて、詳細な報告があったのですよ。ぜひ羽咋市にもお邪魔してみたいなと私は思っておったわけですが、今回そういう機会をつくっていただいたということは、大変よかったなと思います。今後のますますの取り組みの進展についてご期待申し上げますながら、私の質問を終了したいと思います。

高橋孝夫議員の質問

鈴木良雄議長 次に、順位2番、議席番号11番、高橋孝夫議員。

(11番高橋孝夫議員登壇)(拍手)

11番 高橋孝夫議員 おはようございます。

私は、健全な市政運営と市民生活の向上を願いながら一般質問を行います。

通告をしております3点について順次質問申し上げますので、簡潔で明解な答弁をいただきますようお願いをしておきたいと思います。

質問の第1は、斎場運営のあり方についてです。長井市の斎場業務については、本年度から社団法人長井・西置賜地域シルバー人材センターが業務を受託することになりました。いただきました「長井市緑が丘斎場業務委託契約書」によりますと、委託期間は平成16年4月1日から平成17年2月28日までの11カ月間、委託料は、11カ月間で630万9,660円ということであります。

私は、以前からこの委託は問題があると申し上げてまいりましたし、その都度質問をさせていただいています。今回は4点についてお伺いをしたいと思います。

第1点は、委託先である社団法人長井・西置賜地域シルバー人材センターは、果たして受託者として適正かという点についてです。

シルバー人材センターの業務の規定は、法律では「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」この第42条で以下のように規定をされています。「シルバー人材センターは、前条第1項の規定にかかる区域(以下「センターの指定区域」という)において、次に掲げる業務を行うものとする。

一 臨時かつ短期的な就業(雇用によるものを除く)またはその他の軽易な業務にかかる就業(雇用によるものを除く)を希望する高年齢退職者のために、これらの就業の機会を確保し、及び組織的に提供すること

二 臨時かつ短期的な雇用による就業またはその他の軽易な業務に係る就業、これを希望する高年齢退職者のために、無料の職業紹介を行うこと

三 高年齢退職者に対し、臨時かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと

四 前3号に掲げるもののほか、高年齢退職者のための臨時かつ短期的な就業及びその